

携帯型心電図アンプ Polyam(ECG) II B

タバコ箱サイズで双極誘導の簡単な心電図計測を行うための携帯型心電図アンプです。精密な心電図検査にはご利用いただけません。RRインターバル(心拍数)の測定などにご利用頂けるものです。



シールド付電極コード



本体

1. 乾電池を取り付けます。

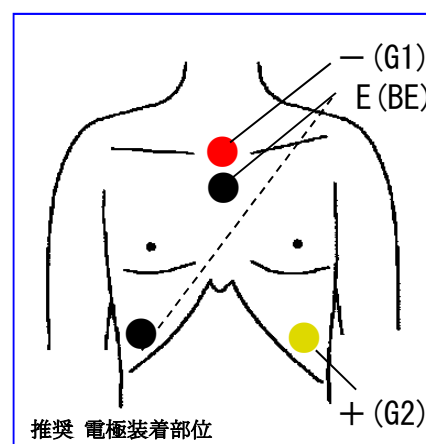
乾電池単3 × 1 個 を背面のふたを開け、極性を間違えないように装着ください。

2. 電極を取り付けます。

次の3箇所に取り付けます。(推奨場所)

- ① - (G1): 電極コード 赤色 胸骨(上側)
- ② E (BE): 電極コード 黒色 胸骨(下側) or 右肋間下部
- ③ + (G2): 電極コード 黄色 左肋間下部

この他、誘導方法によりいろいろな取付方法がございますが、RRインターバル(心拍)の計測を行う目的のため、体動に強くノイズの入らない取付場所として、右記の部位を推奨いたします。この誘導では R 波が大きく上向きとなる第 II 誘導に近い波形が観察されます。①②の電極は左右(水平)に取り付けても結構です。シールドタイプの電極コードをご利用時は、各コードのシールド線(灰色)を S 端子に差し込んでください。シールドなしでもご利用いただけます。シールドはノイズ対策のためですので、使用されなくても安全性に影響は与えません。



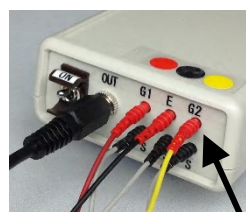
推奨 電極装着部位

3. 電源を入れ信号を接続します。

スイッチを ON にしてください。

上部の出力端子に出力コードを繋ぎます。

接続する機器(モニターや記録装置、レコーダー、パソコンなどの解析装置)に接続します。



プラグは根元まで挿入



接続例

★注意[重要] 本装置は乾電池で動作し、出力信号線はアイソレーションされているため被験者への電撃などの原因になりませんが、本装置に接続する機器が商用電源を利用する際は、それらの電気製品に対して**アースの取付**や**アイソレーショントランス(MaP801)の使用など、安全対策を必ず行ってください**。心臓に対するマクロショックなどの重大な事故防止のため、必ず対策を行ってください。本機器に接続する機器、ならび本製品のご利用は使用者の責任の下ご利用下さい。万一事故が発生しましても、弊社は免責とさせていただきます。

●主な仕様

LFF: 0.5(Hz) [TC=0.3(s)] HFF: 15 (Hz) Gain: 1000倍 [1(mV/V)] ダイナミックレンジ: ±1.5(V)

電源: 電池 単3 [1.5(V)] × 1個 (連続使用時間: 約8時間) サイズ: W55 × D27 × H90 (mm) 突起物除く

重さ: 80(g) [130(g) 電池含む]、出力端子: モノラルミニジャック(3.5mm φ) 信号(先端)-GND(根元)

付属品: シールド付電極コード YCE116(S)m/3 (赤・黄・黒 各1本、フック→1 φ DINコネクタ、1.5(m)長)、

出力コード MaP591(モノラルミニジャック(3.5mm φ)⇒BNC(P),1.8(m)長) × 1本

※ 本製品は基礎医学研究用機器のため臨床用途にはご使用できません。臨床検査でのご利用の際は、医療機器承認を受けた機器をご利用ください。仕様改善のため仕様変更する場合がございます。